

カ
ブ
キ
参

月
の
章

は
し
だ
山
花
聖



出逢いは

最悪だった





かぶた

前世編 其の一



花はくれない

暮れる夕ゆふにも
映はえてこそ

ひとえひとたび
一重一度

きのふけふ
昨日今日

うつそみこそみ
現世来世

散り咲き染めし
色をも香をも

しる人ぞしる





まあ本当に
艶やかですこと！
光之介様の
舞は

ホ木ホ木

これなら
白拍子も
歌仙も
いりませぬ
わね

いやいや

かような
華の群れを前に
心も体も踊らずに
いられまいて



お館様

先程から
高阿様が
お待ちです

冷明様の
使いの者が
お待ちに

新しい
奥方様が
お待ちに



捨て…



待たせておけ



放っておけ



おき
隠岐の
さくらもとすけ
佐倉元輔殿は
ごさんじょ
御三女

みよしの
美吉乃様に
ござります

おお!
これはなかなか
可憐では
ないか

不用意に
私に
触れないで
下さる?

あ?

私
の
殿方という
ものが
大ツキライ
ですの

私達は
政略結婚故
そこに愛情など
ありませんわ



私の身の世話も

この楓かえがしてくる

ので余計な心配りも
ありません

.....

なんだ
なんだ
この女



ああでも
安心なすって

この先
あなた様が
側室なり遊女なりと
バンバン遊ぼうが
世嗣よつぎを成そうが
反対しませんことよ

お
おお!
ならば
そうして
くれようぞ!



ときに
光之介様

あなた
おかしい
ですわ



は?

一城の主たるもの
碌ろくなお付きの者も
おらぬなどと
武將の恥さらしですわ

私の遠縁の者で
丁度良い子が
おりますの

どうぞ
小姓こしやうとして
お召し
下さりませ


お女おんなさん
お女おんなさん
お女おんなさん





飛驒は北方にいる
藤柴氏の末男

景矢という
者ですわ



仁羽郡は清州にいる
久我幻之介殿の御嫡男

久我正勝光之介
様だ

まだ若年ながらに
父幻之介殿の早逝で
家督を継いだ方
なのだがこれが
なかなかの御方での

何より

力ある諸氏との親交も厚く
帝の縁の者にもいたく
寵されているとのことじゃ

しかもその容姿は
たいそう秀麗と
噂も広く
芸事や異文化に
長けて

つまりは

その方と
戦と闘を
共にしろという
ことですね

ううむ

今度の方は
すぐには
没落することは
ないという
ことですね

ううむ

おお前の
気が乗らぬなら
この話は破談に
しても……

我が息子
なななり
なんや
ニハハ……

いいえ
有難く奉公させて
頂きます

遊女の子である私を
ここまで育てて
下さった父上の恩に
恥じぬ様に

ねえ聞いて？
景矢様がまた
奉公に出られる
そうよ

これで何度目
かしらねえ

運が悪いとも
いえるけどやっぱり
本人に問題があるわよ

いくら見目と頭が
良くっても
あんなに可愛気かわいげが
ないんじゃない
主人に愛想を
つかされても
当然よ

シッ

あ

あら





では

行って
参ります

カ

ク



うむ

たっしや
達者でな